

この節では、母親が現在子どもに対してどのようなしつけをしているのか、また、母親自身は子どもの頃に親からどのようなしつけを受けていたのかについてみてみよう。質問形式としては、子育てをする上での心がけを

1. 現在子育てをする上で心がけていること

人とのコミュニケーション（基本的なあいさつやお礼、友だちづきあい）に心がけている（図2-3）

全体的にみると、トップは「基本的なあいさつやお礼ができるようにしつけている」90.5%で、9割の人が心がけていることとしてあげていた。次いで、「友だちづきあいは大切にできるように教えている」が70.5%と7割に達している。子どもの安全や健康面への配慮よりも、人とのコミュニケーションを重視している親が多い。学校でのいじめ問題が、親の子育て意識に大きく影響を与えていると思われる。

男子に多い、テレビゲームの時間制限

男女別にみると、一番差が大きかったのは、「テレビゲーム（ファミコン）で遊ぶ時間は決めている」で、男子32.7%、女子22.2%と10.5%の差があった。その他の項目については「子どもがいつもお手伝いをする家事がある」が女子のほうが男子より3.7%高い以外は、ほとんど差がなかった。

小1生になると子どもの帰宅時には家にいるようにする割合が高くなる（表2-1）

学年別に心がけの状況がどのように変化するかみてみると、学年が上がるにつれて数値が高くなる項目が多いことが目立つ。その中の上位三つをあげると、「テレビゲーム（ファミコン）で遊ぶ時間は決めている」（年少児

15項目設定し、その中で今現在心がけていることと、実家の親が心がけていたと思うことそれぞれについて聞いてみた。まずは、現在心がけていることからみてみよう。

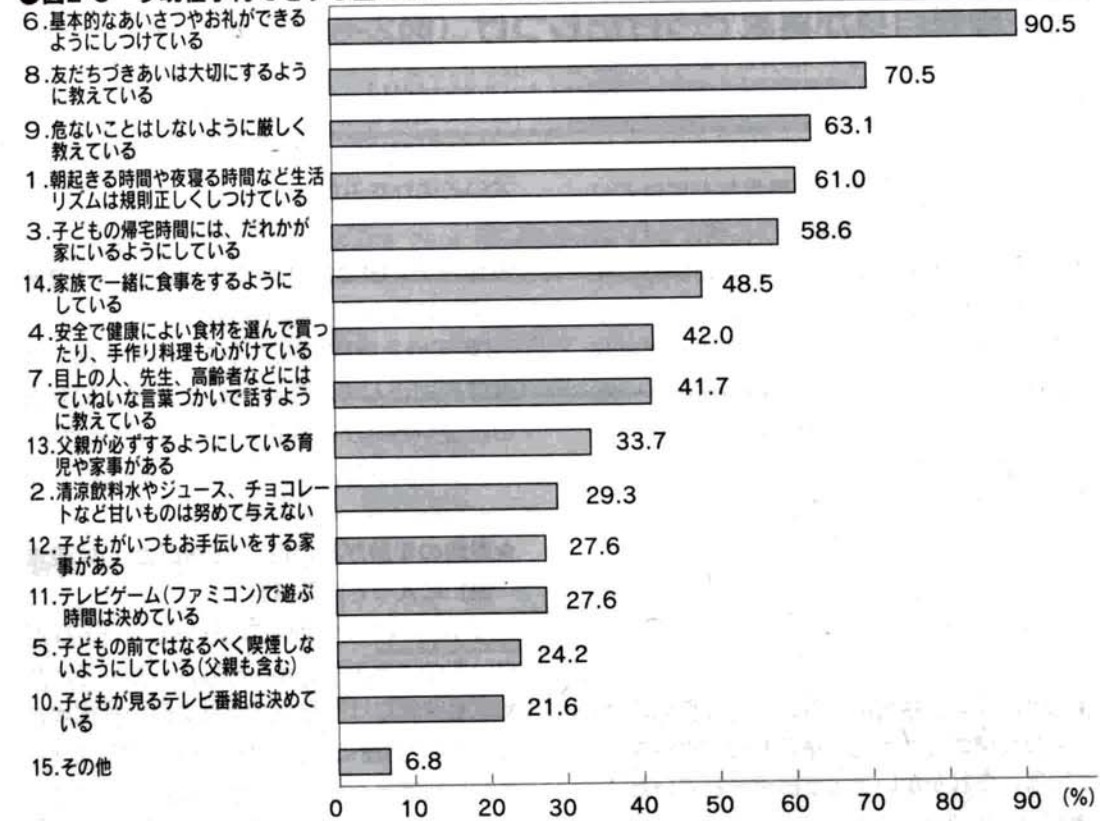
14.2%<小2生41.6%、27.4%差)、「子どもの帰宅時には、だれかが家にいるようにしている」（年少児51.3%<小2生67.7%、16.4%差)、「目上の人、先生、高齢者などにはていねいな言葉づかいで話すように教えている」（年少児34.8%<小2生49.9%、15.1%差）となる。とくに子どもの帰宅時間に家にいるようにする割合は、年長児から小1生で14.3%増えていた。

子どもの帰宅時間に家にいるようにするためだけではないだろうが、年長児から小1生でパートタイマーや常勤者の割合が減り（パートタイマー1.5%減、常勤者4.1%減）、専業主婦が5.7%増えていることから、子どもの小学校進学は母親の就業状況にも影響を与えていることがわかった。

母親の就業状況別の結果（図2-4）

母親の就業状況別に比較すると、常勤者は「父親が必ずするようにしている育児や家事がある」「家族と一緒に食事をするようにしている」の2項目以外は、専業主婦、パートタイマーより低い数値だった。最も差が大きい項目は「子どもの帰宅時には、だれかが家にいるようにしている」（専業主婦と常勤者は30.6%差）。次いで、「テレビゲーム（ファミコン）で遊ぶ時間は決めている」「安全で健康によい食材を選んで買ったり、手作り料理も心がけている」と続く。

●図2-3 今現在子育てをする上で心がけていること



●表2-1 今現在子育てをする上で心がけていること × 学年 (%)

	年少児	年中児	年長児	小1生	小2生
1. 朝起きる時間や夜寝る時間など生活リズムは規則正しくしつけている	④60.3	④59.4	④59.7	④67.4	④66.5
2. 清涼飲料水やジュース、チョコレートなど甘いものは努めて与えない	31.8	28.6	28.0	27.1	29.2
3. 子どもの帰宅時には、だれかが家にいるようにしている	⑤51.3	⑤52.7	⑤58.8	③73.1	③67.7
4. 安全で健康によい食材を選んで買ったり、手作り料理も心がけている	37.0	40.3	41.2	45.2	45.2
5. 子どもの前ではなるべく喫煙しないようにしている（父親も含む）	25.4	23.2	25.0	24.6	23.2
6. 基本的なあいさつやお礼ができるようにしつけている	①91.0	①90.5	①90.1	①91.0	①89.1
7. 目上の人、先生、高齢者などにはていねいな言葉づかいで話すように教えている	34.8	39.5	41.9	46.7	49.9
8. 友だちづきあいは大切にできるように教えている	②67.5	②66.3	②70.3	②75.7	②77.7
9. 危ないことはしないように厳しく教えている	③64.6	③61.9	③63.4	⑤65.4	⑤59.0
10. 子どもが見るテレビ番組は決めている	21.2	21.5	21.2	21.7	23.2
11. テレビゲーム（ファミコン）で遊ぶ時間は決めている	14.2	21.5	29.2	36.6	41.6
12. 子どもがいつもお手伝いをする家事がある	22.1	22.9	29.6	32.0	33.9
13. 父親が必ずするようにしている育児や家事がある	37.0	34.9	36.4	32.4	24.4
14. 家族と一緒に食事をするようにしている	47.4	44.9	48.9	50.5	52.1
15. その他	7.6	6.5	6.7	7.4	5.9

2. 母親自身が実家でうけたしつけ (図2-5)

実家でのしつけ内容はさまざま

実家でのしつけについて全体的にみると、「目上の人、先生、高齢者などにはていねいな言葉づかいで話すように教えられた」が78.7%と最も高い数値を示している。また、「その他」の割合が62.0%と高く、各家庭に依拠しているいろいろなしつけがあったことがわかった(その他の具体的な内容は44・45ページに掲載)。また、母親自身が実家でうけたしつけについてはアンケートの回答者である母親自身が子どもの頃にうけたしつけについて聞いているため、子どもの属性(性別、学年、出生順位)より、母親の年齢による差を重視し、分析を行った。

年齢層が高い母親のほうが、実家において食事面のしつけと、子どもの帰宅時間に家にだれかがいるよう配慮されていた

★母親の年齢別分析の手順

①母親の年齢(20歳未満~56歳以上)を3歳きざみで14グループに分類。その中で1グループあたり50人以上の8グループを選ぶ。②8グループを年齢が低い層(23歳以上~35歳未満)と高い層(35歳以上~47歳未満)の二つに分類する。③しつけの内容ごとに、8グループを数値の高い順に第1位から第8

3. 今現在と実家でのしつけの比較 (表2-2)

現在子育てをする上で心がけていることと、実家で受けたしつけは表2-2のような差が出ているが、ここでは両者を比較するというよりは、それぞれの時代における、母親のしつけの傾向として受けとめたい。

今現在は、基本的なあいさつやお礼に関するしつけに配慮

実家よりも今現在のほうが数値が高い項目は、「基本的なあいさつやお礼ができるよう

位まで順位をつけ、第1位から第3位のグループが年齢の低い層・高い層のどちらに入っているのかをみた。

★母親の年齢が低い層(23歳以上~35歳未満)に入っている項目

「朝起きる時間や夜寝る時間など生活リズムは規則正しくしつけられた」「基本的なあいさつやお礼ができるようにしつけられた」の2項目だった。

★母親の年齢が高い層(35歳以上~47歳未満)に入っている項目

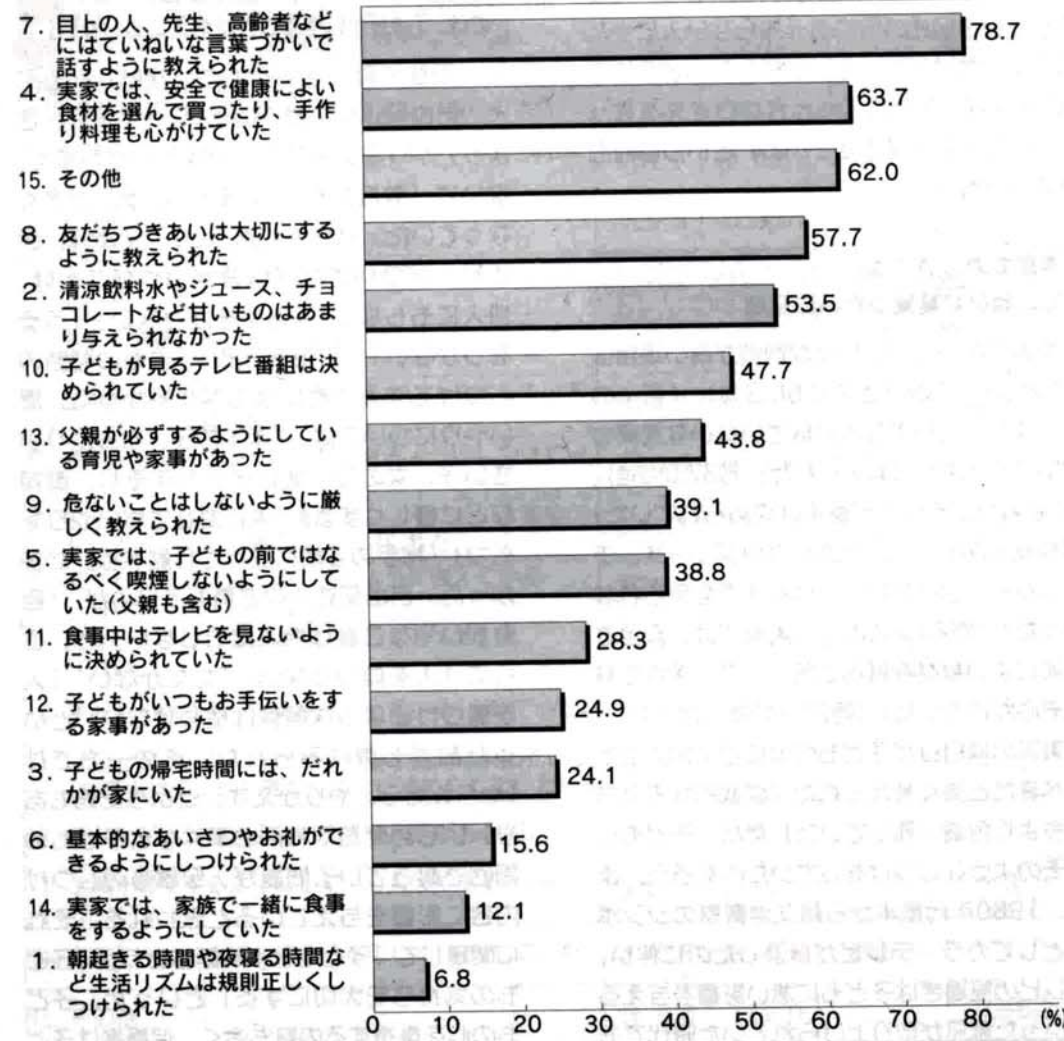
「清涼飲料水やジュース、チョコレートなど甘いものはあまり与えられなかった」「子どもの帰宅時間には、だれかが家にいた」「実家では、安全で健康によい食材を選んで買ったり、手作り料理も心がけていた」「友だちづきあいは大切にするように教えられた」の4項目だった。年齢が高い層のほうが低い層より食事面で配慮されていたことがわかる。年齢が高い層(35歳以上~47歳未満)は、1950年から1962年に生まれた世代で、この世代が子どもの頃にインスタント食品が出始め、またお菓子の種類も増え始めている。そういう時代背景が食事面への配慮につながっていた。

にしつけしている(実家と74.9%差)、「朝起きる時間や夜寝る時間など生活リズムは規則正しくしつけしている(同54.2%差)、「家族と一緒に食事をするようにしている(同36.4%差)、「子どもの帰宅時間には、だれかが家にいるようにしている(同34.5%差)、「危ないことはしないよう厳しく教えている(同24.0%差)だった。基本的なあいさつやお礼、規則正しい生活リズムは、今の時代において崩れつつある部分である。とくに生活

●図2-4 今現在子育てをする上で心がけていること × 母親の就業状況(差の大きい上位5項目) (%)

	子どもの帰宅時間には、だれかが家にいるようにしている	テレビゲーム(ファミコン)で遊ぶ時間は決めている	安全で健康によい食材を選んで買ったり、手作り料理も心がけている	友だちづきあいは大切にするように教えている	基本的なあいさつやお礼ができるようにしつけしている
専業主婦	65.0	28.4	44.5	70.2	91.4
パートタイマー	54.8	29.8	39.1	71.9	89.3
常勤者	34.4	18.8	35.8	66.9	88.7

●図2-5 実家でのしつけ



リズムについては、夜型の親の生活リズムに合わせて子どもの生活リズムがずれてきている昨今だけに、母親として心がけなければならないという思いが表れていた。次いで「家族で一緒に食事をする」ということは、夕食時に父親不在の割合が高く、意識して心がけていないと父親不在の夕食が続くということが背景にあるのだろう。ベネッセ教育研究所が実施した「第4回国際比較調査（'93年～'94年調査）」の結果でも、日本は夕食を家族と一緒にとらない父親の割合が高かった。

また、「子どもの帰宅時間には、だれかが家にいるようにしている」「危ないことはしないように厳しく教えている」については、子どもを巻き込む事件の増加など、単にわが家の方針の枠を越えた社会的な影響も表れており、自由記述の中にも「知らない人にやたらに話しかけたり、ついて行かないように言っている」「遊びに行くときは行き先を言うてから行くようにさせている」という回答も数件みられた。

●実家でのしつけは、ていねいな言葉づかいに配慮

実家でのしつけのほうの数値が高い項目は「その他」（今現在との差55.2%）、「目上の人、先生、高齢者などにはていねいな言葉づかいで話すように教えられた」（同37.0%差）、「子どもが見るテレビ番組は決められていた」（同26.1%差）、「清涼飲料水やジュース、チョコレートなど甘いものはあまり与えられなかった」（同24.2%差）、「実家では、安全で健康によい食材を選んで買ったり、手作り料理も心がけていた」（同21.7%差）だった。

実家の親自身が子どもの頃に目上の人を敬うべきだと強く教えられた（儒教的な考え方が今より色濃く残っていた）ため、子どもにもそのようなしつけをしていたのだろう。また、1960年代後半から耐久消費財のシンボルとしてカラーテレビが普及したのに伴い、テレビの見過ぎは子どもに悪い影響を与えるといった意見が取り上げられていた時代でも

あった。そのような社会的背景がこうした結果の一要因として考えられる。

●「その他」に記述された内容

今現在子どもにしているしつけと、実家でうけたしつけの「その他」の項目について、自由記述の内容をみてみよう。書かれている内容を大まかに分類すると、①物の大切さ②思いやり③マナー、きまり④食事⑤遊び⑥勉強⑦本⑧テレビ、テレビゲーム⑨コミュニケーション、言葉づかい⑩しかり方⑪スキンシップ⑫親としての態度や家族・夫婦について⑬子どもの心を受けとめる⑭基本的な生活習慣⑮自立⑯教育方針の16項目に分けられた。

●今現在のしつけに関する自由記述で一番多いのは、「自分がいやなことは他人にもしない」

今現在子育てをする上で心がけていることの自由記述の中身をみると、「マナー、きまり」や「思いやり」に関する内容が多く、次いで「教育方針」「食事」「言葉」が多くなっていた。具体的に言うと、「マナー、きまり」については「自分がいやなことは、他人にもしない」「迷惑をかけない」「うそをつかない」「約束を守る」「善悪の判断のしつけをする」という回答が多かった。思いやりについては、「年下の子、自分より小さい子、女の子、弱い子、お年寄り、動物などに優しくする」「人に対して思いやりをもつ」「相手の立場に立って行動する」が多かった。自由記述の中で最も多いのが、「自分がいやなことは他人にもしない」で、さらに「人を傷つけない」「たたかない」「人を傷つけるような言葉は使わせない」といった記述も数件みられた。その一方で「やられたら、やりかえす」という記述もあり、いじめ問題や神戸の事件など子どもの周囲で起きている問題が、保護者のしつけ内容に影響を与えていると思われる。それに関連して「子どもとよく話し合う」「子どもの気持ちを大切に作る」といった、子どもの心を重視する内容も多く、保護者は子ども

もの心をつかむことにデリケートになっていることが記述に表れていた。

●実家のしつけは、マナー、きまりに関する自由記述が多い

実家でのしつけに関する自由記述は「マナー、きまり」が他と大差をつけて多かった。「マナー、きまり」に関する具体的な内容は、前述の今現在の子育てとほぼ同じだが、帰宅時間（門限）についての回答が多かった。実家でのしつけは、母親が園児時代～小学校低学年時代のことに限らず、現在子育てをする上でのしつけ観の基盤を形成しているもので、その中でもとくに門限

については自分が実家でうけたしつけの中で印象に残っていることがわかった。

また、実家でのしつけに関する自由記述には、「父子（母子）家庭／自営業／共働きだったので、あまりかまってもらえなかった。だから、自分はいつも家にいて子どもにさびしい思いをさせないようにしたい」「よくたたかれたのがいやだった。だから自分の子どもはたたかないようにしている」「しつけ・管理が厳しく、窮屈だった。だから自分の子どもは自由にのびのびと育てたい」という、実家のしつけを反面教師として、今現在のしつけや教育方針を考えている人が多かった。

●表2-2 今現在子育てをする上で心がけていることと、実家でのしつけの比較 (%)

項目 今現在と実家ではほとんど項目は同じ。 *文末がカッコ内(11のみ下段)の言葉が実家の項目。	今現在 心がけて いること (A)	実家での しつけ (B)	今のほうが 高い項目 (7項目) (A)-(B)	実家のほうが 高い項目 (8項目) (B)-(A)
1. 朝起きる時間や夜寝る時間など生活リズムは規則正しくしつけている(られた)	④61.0	⑮ 6.8	②54.2	
2. 清涼飲料水やジュース、チョコレートなど甘いものは努めて与えない(られなかった)	⑩29.3	⑤53.5		④24.2
3. 子どもの帰宅時間には、だれかが家にいるようにしている(いた)	⑤58.6	⑫24.1	④34.5	
4. 安全で健康によい食材を選んで買ったり、手作り料理も心がけている(いた)	⑦42.0	②63.7		⑤21.7
5. 子どもの前ではなるべく喫煙しないようにしている(いた)(父親も含む)	⑬24.2	⑨38.8		⑥14.6
6. 基本的なあいさつやお礼ができるようにしつけている(られた)	①90.5	⑬15.6	①74.9	
7. 目上の人、先生、高齢者などにはていねいな言葉づかいで話すように教えている(られた)	⑧41.7	①78.7		②37.0
8. 友だちづきあいは大切にできるように教えている(られた)	②70.5	④57.7	⑥12.8	
9. 危ないことはしないように厳しく教えている(られた)	③63.1	⑧39.1	⑤24.0	
10. 子どもが見るテレビ番組は決めていた(られていた)	⑭21.6	⑥47.7		③26.1
11. テレビゲーム(ファミコン)で遊ぶ時間は決めていた(食事中はテレビを見ないように決められていた)	⑪27.6	⑩28.3		⑧ 0.7
12. 子どもがいつもお手伝いをする家事がある(あった)	⑪27.6	⑪24.9	⑦ 2.7	
13. 父親が必ずするようにしている育児や家事がある(あった)	⑨33.7	⑦43.8		⑦10.1
14. 家族と一緒に食事をするようにしている(していた)	⑥48.5	⑭12.1	③36.4	
15. その他	⑮ 6.8	③62.0		①55.2